

中区地域福祉保健計画 第4地区北部



目指すまちの姿

こどもたちの「ふるさと」になるまち
～安心して住みやすい誇れるまち～

- 北方町一丁目
- 北方町二丁目
- 千代崎町一・二・三丁目
- 千代崎町四丁目
- 小港町一丁目
- ビューコート小港
- 小港町二・三丁目
- 諏訪町
- 本牧十二天



第4地区北部の取組目標

1えん結び

参加者も担い手も
楽しみながら仲間をつくり、
ゆるやかに見守り・
支えあえる関係を
作っていこう



防災訓練

- 日ごろから声を掛けあい、助けあえる関係を作り、災害にも強いまちを作ります。
- 行事や活動を通じて、仲間づくりや見守りあえる居場所づくりを続けます。
- 認知症の方や障害者、その家族への理解を広めています。
- 積極的に情報収集し、皆で学び合うことを続けます。

2元気いっぱい

気軽に誰もが参加できる
地域活動を通して、
健康で元気なまちづくりを
楽しみながら進めよう



健康チェック

- 健康チェックやウォーキングなど、楽しみながら健康を高める活動を広げていきます。
- 趣味や特技を活かして活動できる場をつくります。
- みんなで声を掛け合い、町内美化に取り組みます。

3こどもたちは 宝もの

こどもたちが安心して
暮らしやすいまちにしよう



子育てサロンひだまり

- 多世代交流を深め、顔の見える関係づくりを進めます。
- 子育て世代が交流できる活動を続けます。
- 身近な見守り活動で、こどもたちの成長をゆるやかに見守ります。

これまでの計画(第4期計画)の振り返り

1えん結び

高齢者サロンやサークル活動などのつながりづくり、おはやしやもちつき、夏まつりなどの行事、防災訓練や清掃活動などの地域活動等を積極的に行ってきました。その他、民生委員がキャラバンメントとして認知症の啓発活動を行ったり、地域の特性に合わせた防災の勉強会を行ったりと楽しみながら活動の幅を広げてきました。

コロナ禍で活動が難しい時期もありましたが、工夫を重ねて、第4地区北部らしく活動を継続することができました。



もちつき

2元気いっぱい

健康チェックやウォーキング、フレイル予防など、地域の方々が元気に過ごせるよう、健康づくりの活動を楽しみながら積極的に行ってきました。

3こどもたちは宝もの

民生委員を中心に、子育てサロンでの見守りや、登下校時の安全見守りなど、地域全体でこどもたちの成長を見守ってきました。「おとなもこどもも一緒に遊ぼ!」といったイベントも開催し、多世代が交流できる場づくりにも力を入れています。



おとなもこどもも一緒に遊ぼ!



第4地区北部はこんなまち!

この地域は、丘陵地から海辺の埋立地まで東西に広がっていて、昔ながらの雰囲気が残る住宅街やマンションが並んでいるよ。長年住み続けている人が多く、地域のつながりが深い場所だけど、最近では新しく引っ越してくる人も増えていて、子どもの数も少しづつ増えているよ。だから、子どもたちがこの地域を「自分のふるさと」と感じられるように、子どもを中心としたイベントに力を入れているんだ。

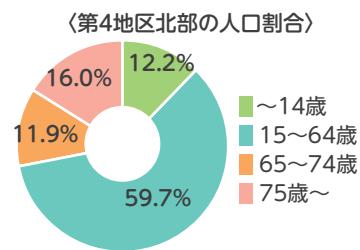
また、外国から来た人たちも地域の一員として自然に溶け込んでいて、多様な文化が共存していることも、この地域の大きな特徴だよ。



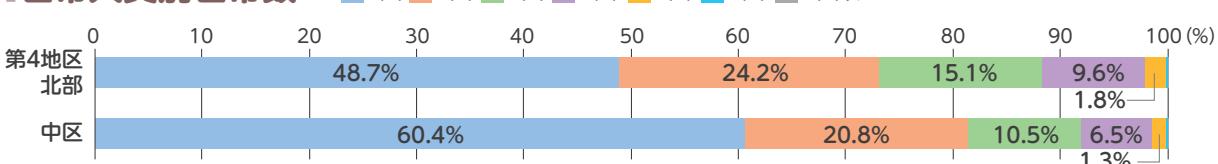
第4地区北部の統計データ

人口

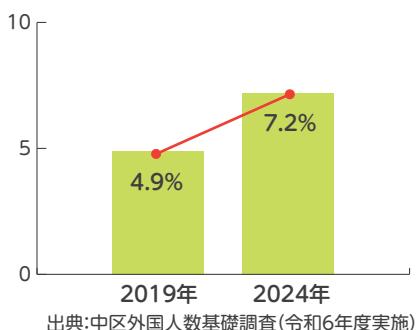
	合計	～14歳	15～64歳	65～74歳	75歳～
第4地区 北部	6,542人	803人	3,907人	782人	1,050人
	100.0%	12.2%	59.7%	11.9%	16.0%
中区	155,313人	14,103人	104,356人	16,773人	20,081人
	100.0%	9.0%	67.1%	10.8%	12.9%



世帯人員別世帯数



外国人割合の推移



高齢者(65歳以上)の割合は約28%で、中区平均(約23%)を大きく超えています。高齢者のみでみると、75歳以上の割合が大きいです。

また、外国人の割合が増えており、多様な文化が行きかうまちです。中国、韓国に続き、インドや米国籍の人が多いのが特徴です。

人口は減少傾向でしたが、この5年で増えてきており、転入者の増加が見られます。それに伴い、14歳以下のこどもが増加傾向で、少子高齢化の中、こどもたちが増えていることがわかります。

出典記載のないものは「横浜市統計情報ポータル」(令和7年3月現在)より引用しています。

第5期計画はこのように作りました

第4地区北部では、自治会町内会、民生委員・児童委員、地区社協、保健活動推進員、消費生活推進員等が集まり、地区別推進会議を開催しました。

地域ごとに分かれてグループワークを行い、今後、地域で継続していきたい活動や新たに取り組んでいきたい活動、地域で大切にしたい場所などについて意見交換を行い、計画にまとめました。

第5期計画では、これまで行ってきた第4期計画の活動を継続しながら、地域の状況やニーズに合わせて、積極的に情報収集し、皆で学び合い、新しい取り組みも加えていくことになりました。

